

電制機関紙

とらい

平成 31 年 年始号

発行所
株式会社 電 制
広報室〒 067-0051
江別市工業町 8 番地の 13
TEL(011)380-2101
FAX(011)380-2103
http://www.dencom.co.jp

DENCOM

DENSEI COMMUNICATION Inc.

年 頭 の ご 挨拶

代表取締役 田上 寛



あけましておめでとうございます。
旧年中は、格別の御厚情を受け賜わり誠にありがとうございました。

お陰様で当社は、変化の激しい電力分野や技術革新が著しいエレクトロニクス分野と云われている中で事業を進めているにも拘わらず、無事に 1 年を乗り切り穏やかな新年を迎えることが出来ました。

昨年の当社は、電力自由化や発送電分離などの影響で受注環境にも変化が表れ、変電設備関連では設備工事の減少から配電盤関係の出荷が減少する一方で、風力発電や太陽光発電などの再生エネルギー増加によって系統の電力安定のための逆潮流対策が必要となり、当社が開発していた逆潮流対策関連機器の出荷が増えました。こうして振り返ってみると、社会環境の変化を踏まえた積極的な取り組みが如何に重要かをつくづくと感じる 1 年でした。

今年は約 200 年ぶりと言われていた天皇陛下の退位、そして皇太子殿下の即位が行われます。「平成」も残すところあと 4 ヶ月となり、5 月

1 日からは新たな元号で時を刻み始める大きな節目の年となります。また、生活面でも、10 月 1 日には消費税が 8% から 10% に上がることが決まっており、大きな変化の 1 年が始まったと云えます。

この変化の年を踏まえ、社員の皆さんに一言お話しいたします。

一個人では勿論のこと、一企業でも変えることの出来ない社会環境の変化が起った場合に、それが仮に自分たちにとって不都合に思える変化であっても、そこをチャンスとして捉えることが出来れば、その先には飛躍する姿が見えてきます。問題は変化をチャンスと捉えるためにはどうすべきかです。最も大切なのは、

新たな環境をすべて受け入れる勇気であり、その上で新たな環境でしか成しえない強みをじっくりと考えることです。これこそが「逆転の発想」です。

社会は常に変化しています。想定外の変化に直面すると人は狼狽えるものですが、そんな時こそ「逆転の発想」が重要であることを思い出し、心に余裕を持って、今年も社員みなで頑張っていきましょう。

最後になりましたが、お客様はじめ御支援、御指導いただいている皆様には、本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

皆様の御健勝と御発展をお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

取締役就任のご挨拶

昨年 9 月に、取締役事業本部 部長に就任いたしました桜元正です。新年にあたり、また取締役就任にあたりまして皆様に一言ご挨拶申し上げます。取締役として私が重責を担うことになってまもなく、恐怖を感じるほどの北海道胆振東部地震が発

生し、私の取締役としての初仕事は慌ただしくも早朝からの工場内被害状況確認となりました。確認の結果、お陰様で製作中の製品には全く被害もなく安心できる状況ではありましたが、気付かされたことは自然災害への備えも含め、視野を広く持った

経営感覚の必要性です。

今後、経営感覚を磨きお客様の御期待に沿えるよう一層の努力をしてまいりますので、御支援御指導のほど宜しくお願い申し上げます。



取締役事業本部 部長 桜元 正



ネットワークカメラのビューアソフトを開発



【開発風景】

当社ネットワークカメラのビューアソフトは、IP アドレスが割り当てられている複数台のカメラを 1 台の PC で映像監視・制御することが可能です。これまで当社は、市販のビューアソフトをご利用いただいて

おりましたが、機能不足、新機能のご要望に対してお応えできないなど、ご不便をお掛けしておりましたので、この度、お客様のニーズに合わせたビューアソフトを自社開発いたしました。

開発したビューアソフトでは、単画面表示機能に加え、複数台のカメラ映像を同時表示する分割表示機能を複数パターン用意しております。カメラ制御では、マウスホイールによるズーム機能、カメラ映像上の任意の点を中央表示させるクリック

ショット機能、スマートフォンで馴染み深いスワイプ操作機能などを備えております。その他、必要に応じてスピーカーや照明といった外部機器もビューアソフト 1 つで操作することが可能です。

また、機能が充実するほど操作が複雑になるため、直観的な操作が可能となるようメニューを構成したことに加え、グレーを基調としたカラフルなフラットデザインを取り入れることで、使うことが楽しくなるようなビューアソフトに仕上げました。

最後に、当社は、お客様のニーズに対してきめ細やかな対応をしていくことが重要と考えております。今後も本ソフトウェアに限らず、様々な提案をさせていただきながらより良いシステムを御提供できるよう、努力してまいります。



【ビューアソフト画面】

発電事業者様の接続数増加に対応 増設対応版潮流調整システムを納入

太陽光・風力・バイオマスなどの再生可能エネルギーを用いた分散形電源設備の普及とともに電力流通設備の連系容量不足が懸念され、これ



【潮流調整システムの親局 1 (左) と親局 2 (右)】

に対応するため潮流調整システムを北海道電力株式会社様の電気所に納入し、運用いただいております。しかし発電事業者様の接続事例が増加するなか、調整対象である設備に設置された

親局装置 1 台では対応が困難になる事例が想定されるため、北海道電力株式会社様とシステムの増設対応方法の検討を行い、この度増設対応版の初号機を納入いたしました。

既に親局装置（親局 1）が設置されているなか、増設対応用の親局装置（親局 2）を追加し、装置間の信号伝達を接点信号とするなど現状の装置のリソースを最大限に生かすことで、増設時の費用（親局 2 の設置+親局 1 の改造）を極力抑える構成といたしました。

本装置納入にあたり多方面に渡り御指導・御協力をいただきました北海道電力株式会社様をはじめとする関係者各位に厚く御礼申し上げます。

太郎湖下流警報装置に新たな取り組み 光回線化でデータ高速化と 明瞭な音声伝送を実現！

この度、ほくでんエコエナジー株式会社様より太郎湖下流警報装置及び周辺設備間を光回線で接続する通信ケーブルの更新工事を受注し、納入を終えました。本下流警報装置は阿寒湖取水設備に設置される監視局を起点とし、下流域計 8 警報局で構成されているシステムです。

光回線化に伴い、新たな取り組みとして、監視局から警報局間にネットワークを構築し、データ伝送の高速化、さらには、音声信号をデジタル伝送構成にしたことで、これまでのメタルケーブルによる信号減衰



【下流警報装置 設置風景】

や雑音を気にすることなく明瞭な音声伝送を実現しました。また、情報のデジタル化による拠点間の高速化と伝送容量の増強を図り、遠方からでもより細かな保安・監視も可能となりました。

初導入 江卸発電所へ流水雪監視装置を新設

冬期間の河川に流れる流水雪は、水力発電所の導水路に大量流入すると、取水障害の原因となります。

本装置は夜間の流水雪流入をネットワークカメラの画像で監視し、流入検出時に画像付きメールで管理者に通知することを可能としております。本装置の開発研究は、平成 27 年度より北海道電力株式会社様と北電総合設計株式会社様のもと実証実験を重ねてまいりました。様々な画像処理を施すことで朝日の写り込みや水面の揺らぎなどのノイズを軽減



【流水雪監視装置 立会試験の様子】

し、誤検出を抑えることも可能となり、今回本運用として初導入となりました。

現在、2019 年 3 月竣工に向け装置の調整を行っております。

弟子屈変電所 配開改良工事を終えて

本工事では、変電所設備の老朽化に伴い、ほぼすべての機器・配電盤の更新を実施しております。その中で当社は、北海道電力株式会社様より N 型遠方監視制御装置、各種保護継電器盤及び N2 形キュービクルなどを受注、さらに、北海電気工事株式会社様から試験業務を受注し、無事に終えることができました。

試験業務では、新設の変電所とは異なり、すべてが部分更新となるため、変電所の機能を維持する仮設工事も並行して行われ、日々刻々と変化していく変電所形態に注意を払



【各製品の外観】

い、『指差呼称』の徹底はもちろんのこと作業回線誤認の無いように作業を進めていきました。

平成 28 年 4 月の着工から約 3 年間に渡る長期の工事でしたが、御指導、御鞭撻を賜り、無事に業務を終了できましたことを関係各社様へ感謝申し上げます。

ユアトーン装着型今春発売予定

従来のユアトーンは手で持って使用する必要があるため、「今よりも手が自由になる製品を開発して欲しい」との御要望がユーザーや医療機関より多く寄せられていたことから、小型で首に取り付けられるタイプを開発しました。首

元、または手元のスイッチを押すだけで発話できるため、常にユアトーンを手に持っている必要がなくなり、手の自由度が大きく向上します。発売は、今年の春頃を予定しております。



【ユアトーン装着型試作機】

編集後記

はやいもので編集担当になってから、5 度目の年始号です。今号は特にタイトルに頭を悩ませました。読みたくなるタイトルを付けるのは、なかなか難しいですね。本年も宜しくお願いいたします。
〈中川〉